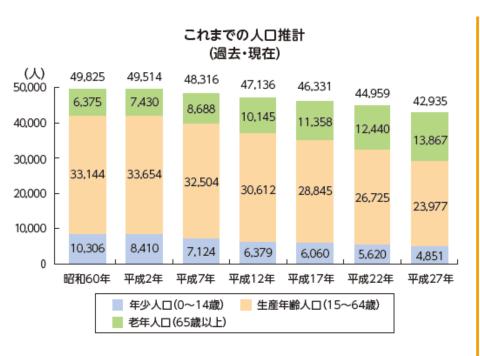
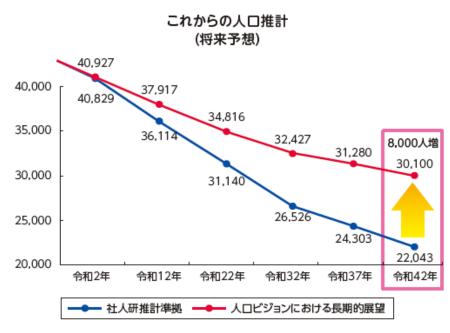
第5次魚津市総合計画(概要版抜粋)(令和3~12年度)

◆魚津市の人口推移と将来人口



昭和60年と比べると…

- ○総人口は約7,000人減少 →
- ○年少人口は約5,500人減少及び生産年齢人口は約9,200人減少 →
- ○老年人口は約7,500人増加 ◆



「国立社会保障・人口問題研究所による人口推計方法」に準拠した推計結果

- 人口減少数の原因として…
- ○出生数が大きく減少
- ○進学・就職等で若者が本市を離れる傾向
- ○Uターン移動の見込みが少ない

◆総合計画の概要・期間

魚津市の特性や課題に対応し、目指すまちづくりの将来像と、その実現に向けた方向性を示すものです。これまでの取組の成果を発展させる一方で、前例や既成概念に捉われることなく、新たな時代を見据えた社会変革に柔軟に対応しつつ、行政・市民・地域・団体・企業が一体となって、より良い魚津市を築き、質の高い持続的な成長を伴う社会を将来の世代に引き継いでいくことを目指しています。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	
基本構想										
	基本計画(前期)					基本計画(後期)				
	総合戦略					総合戦略				

「第5次魚津市総合計画」は、令和3年度から令和12年度までの10年間を期間とした計画です。

本計画は、目指すまちづくりの将来像と、その実現に向けた基本方針や施策体系を示した"基本構想"と、 5年間の主要な施策や具体的な数値による成果指標を示した"基本計画"で構成されています。

◆第5次魚津市総合計画(令和3年度~令和12年度)の観光施策の位置づけ①

総合計画の目標を達成するための施策体系

分野横断的な視点・ まちづくり目標(政策 将来都市像 施策 1. 市民参画・協働の推進 市民が主人公のまちづくり 2. 情報の発信と共有 3. 多様な交流と連携の推進 のなる記事で 市民参画 4. 定住対策の充実 人と人とがつながるまちづくり ともにつくるまち 5. 災害等危機管理体制の充実 協働 6. 日常生活の安全確保 安心・安全なまちづくり 7. 水と緑の保全と活用 8. 快適な生活環境の保全 9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築 環境に配慮したまちづくり 10. 持続可能な行財政経営の推進 11. 切れ目のない子育で支援の推進 持続可能な 効率的で柔軟なまちづくり 未来につなぐまち 12. 子育て環境の整備 まちづくり 13. 学校教育の充実 14. 生涯学習の推進 芸術文化・スポーツの振興 安心して産み育てられるまちづくり 16. 高齢者の生活支援の充実 17. 障がい者・生活困窮者の自立支援の促進 魅力的な 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり 18. 地域で支えあう福祉社会の推進 輝くまち 19. 社会保障制度の適切な運営 地域資源 20. 健康づくりの推進 の活用 支え合いと寄り添いのまちづくり 21. いきいきとしたライフスタイルの実現 22. 観光の振興 いつまでも健やかなまちづくり 23. 農業の振興 将来人口 24. 林業の振興 魚津市では、合計特殊出生率の向上と若者の地元定着を図るとともに、U·lターンを促 25. 水産業の振興 26. 工業・商業の振興 進することで人□規模を維持していきます。 魅力発信と交流のまちづくり 27. 雇用・労働環境の充実 令和2年(2020年)の人口 28. うるおいと緑のあるまちの形成 41,032人(令和12年10月) 新たな価値と活力を創出するまちづくり 29. 中心市街地のにぎわいの創出 30. 災害に強いまちの形成 令和12年(2030年) 令和42年(2060年) 31. 快適な道路機能の強化 安らぎとにぎわいのまちづくり 目指すべき定住人口 人口規模を維持します 32. 住宅対策の推進 [38,000人] [30,000人] 33. 水道水の安定的な供給 34. 下水道の安定的な運営 快適で住みやすいまちづくり 35. 総合交通体系の整備

◆第5次魚津市総合計画(令和3年度~令和12年度)の観光施策の位置づけ②

政策10 魅力発信と交流のまちづくり

10年後の目指す姿

・地域の魅力が広く国内外へ発信され、魚津市の認知度が高まり、観光客が増加しています。

施策22 観光の振興

①地域資源のブランドカ向上…観光資源の磨き上げを図ると同時に新たな地域資源を発掘し、魅力の向上に取り組んで魚津ブランドを創出します。また、観光資源の特徴を活かしながら、ネットワーク化し有効に活用します。

②地域の魅力発信体制の整備…観光宣伝のため、様々な情報発信ツールを特性に合わせて効果的に活用します。また、新しい生活様式を踏まえた上で、観光客のニーズに合わせた観光ガイドや観光コースの充実を図ります。

③イベント・受け入れ体制の充実…多くの人が集まり、交流し、賑わいが生まれる祭りや各種イベントを開催・支援します。また、観光案内サインやガイドの充実など満足度を高める受け入れ体制の整備を進めます。

④広域観光ネットワークの振興…広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランを作り、滞在型観光を促進します。また、様々な交流都市との観光相互連携活動を推進します。

